

ずらかへぐ急し如かく行を道き遠てふ負を荷き重は生一の人

(1)

かくはなひら

られし浮世のうさを忘れ草  
丸に廻りて我れなさめやは

に然なり然らば竊抽きて當りたら

されられず暗涙を吞んで放れの展を

代議士となりて、帝國黨に入りては

道と知らざればなり、故に其爲し

●酒●  
●ブ●  
●ラ●  
●ン●  
●デ●  
●イ●

は屢々來れり、眠れる獅子は熟睡して

茲に至て世人の評か稱な過中して吾

● 新 刊 紹 介 ●

京神田南乗物町数科省翻刻制度研究会

「へ渡さるやう致すが宜しい」と仰せ

洋菓

みよかりける

、最も農を大

御拵ごしよに成な

昭樣は、常  
に附けられ

を疑らしたる御  
御上と云ふ御政治、

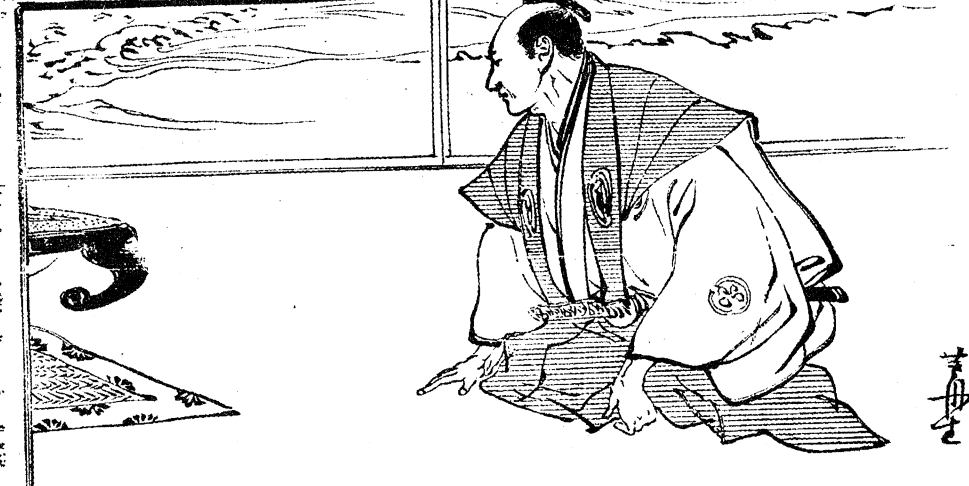
賤山賤の汗と思へば  
を憤り、殊に御家御領分に踏込み

**計類**

**水卸小賣**

洋酒金煙草  
洋食藥品  
金美馬

直轄入附



毒

本國最新式義齒

卷之四

有之候依て小生

告傾也

持刀言

三

110

京城番町二丁目

公衆衛生遺憾に感

三才圖會

金

月三十八

支店電話三六六番







